

令和5年度

横浜市交通安全対策協議会

総会資料

# 目 次

○令和5年度横浜市交通安全対策協議会 交通安全運動実施報告……………	1
○令和6年度横浜市交通安全対策協議会 交通安全運動実施計画（案） ……	24
○参考資料	
資料1：横浜市における交通事故の状況等（令和5年）……………	28
資料2：横浜市交通安全対策協議会会則……………	30
資料3：横浜市交通安全対策協議会委員名簿……………	33

# 令和5年度横浜市交通安全対策協議会 交通安全運動実施報告

令和5年度は、各地域の実情や特性に応じた活動等を実施するとともに、イベント、交通安全教室、研修会の実施や、SNS等を活用した啓発に取り組みました。

令和5年中の横浜市内における人身交通事故は、発生件数 7,703 件(前年比+211 件)、負傷者数 8,909 人(前年比+426 人)、死者数 40 人(前年比+2 人)と、依然として多くの尊い命が失われています。

令和6年度は、令和5年度横浜市交通安全実施計画に定めた、「年間の交通事故死者数 36 人以下」、「通学路における子どもの交通事故死ゼロ」を目標に、関係機関・団体の皆様とともに、市民の交通安全意識の向上を目指した運動を効果的に推進してまいります。

## 1 各季の交通安全運動・強化月間

### 主な活動内容(共通)

- ◇ 駅前や広場・商店街等においてキャンペーン・イベント・パレード等を実施
- ◇ 車両運転者や歩行者へ交通事故防止を呼び掛け、啓発物品の配布を実施
- ◇ 区役所等において、運動を周知する懸垂幕やポスターの掲示、チラシ等の配架を実施
- ◇ SNS を利用した周知啓発

### (1) 各季の運動

運動名等(実施期間)	実施内容
<p>新入学児童・園児を交通事故から守る運動 (4/5~4/11)</p>	<p><b>1 重点</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>◆ 新入学児童・園児の交通事故防止</li> <li>◆ 全ての座席のシートベルトとチャイルドシートの正しい着用の徹底</li> <li>◆ 全ての自転車利用者に対する乗車用ヘルメット着用努力義務の周知徹底</li> </ul> <p><b>2 主な活動内容</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>◇ 登園・登校時の見守り活動を実施</li> <li>◇ 新入学児童に対する交通安全教室を実施</li> </ul> <div data-bbox="887 1370 1453 1686" data-label="Image"> </div> <div data-bbox="493 1695 1091 1980" data-label="Image"> </div> <p>新入学児童等の保護誘導活動 (元町小学校前)</p>

<p>春の全国交通安全運動 (5/11～5/20)</p> <p>交通事故死ゼロを目指す日(5/20)</p>	<p><b>1 重点</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>◆ 子どもと高齢者を始めとする歩行者の安全確保</li> <li>◆ 横断歩行者事故等の防止と飲酒運転根絶等の安全運転意識の向上</li> <li>◆ 自転車のヘルメット着用と交通ルール遵守の徹底</li> <li>◆ 二輪車の交通事故防止</li> </ul> <p><b>2 主な活動内容</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>◇ 自転車利用者のヘルメット着用努力義務化の周知啓発</li> </ul> <div style="display: flex; justify-content: space-around; align-items: center;">   </div> <p style="text-align: center;">自転車マナーアップキャンペーン(新都市プラザ)</p>
<p>夏の交通事故防止運動 (7/11～7/20)</p>	<p><b>1 重点</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>◆ 過労運転・無謀運転の防止</li> <li>◆ 子どもと高齢者の交通事故防止</li> <li>◆ 自転車の交通事故防止</li> <li>◆ 二輪車の交通事故防止</li> </ul> <p><b>2 主な活動内容</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>◇ 高齢者交通安全の日（7月15日）に老人クラブを対象に交通安全教室を実施</li> <li>◇ 車両展示、乗車体験(死角体験)の実施</li> </ul> <div style="display: flex; justify-content: space-around; align-items: center;">   </div> <p style="text-align: center;">交通安全運動キャンペーン(新鶴見公園)</p>

秋の全国交通安全  
運動

(9/21～9/30)

交通事故死ゼロを目指  
す日(9/30)

1 重点

- ◆ 子どもと高齢者を始めとする歩行者の安全の確保
- ◆ 夕暮れ時と夜間の事故防止及び飲酒運転等の根絶
- ◆ 自転車等のヘルメット着用と交通ルール遵守の徹底
- ◆ 二輪車の交通事故防止

2 主な活動内容

- ◇ 自転車保険への加入とヘルメット着用努力義務化の周知啓発
- ◇ 反射材の着用推進



サイクルイベント (みなとみらい)

年末の交通事故防止  
運動

(12/11～12/20)

1 重点

- ◇ 横断歩行者（特に高齢者）の交通事故防止
- ◇ 二輪車の交通事故防止
- ◇ 飲酒運転の根絶

2 主な活動内容

- ◇ 街頭で高齢者を対象に反射材の配布と注意喚起を実施
- ◇ 商業施設における自転車シミュレーター体験の実施
- ◇ 横浜市交通安全キャラクターのまもるくんがキャンペーンに参加し、飲酒運転の根絶の呼び掛けを実施



交通事故防止キャンペーン (こどもの国)

## (2) 強化月間

運動名等(実施期間)	主な実施内容
<p>九都県市一斉自転車 マナーアップ強化月間 (5/1～5/31)</p>	<p><b>1 重点</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>◆ 自転車交通ルールの遵守とマナーの向上</li> <li>◆ 自転車の点検整備の促進と自転車損害賠償責任保険等加入義務の周知徹底</li> <li>◆ 全ての自転車利用者に対する乗車用ヘルメット着用努力義務の周知徹底</li> </ul> <p><b>2 主な活動内容</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>◇ 自転車等放置禁止区域を巡回し、放置防止の啓発を実施</li> <li>◇ 自転車利用者に啓発チラシ等を配布し、マナーアップの呼び掛けを実施</li> </ul> <div style="display: flex; justify-content: space-around; align-items: center;">   </div> <p style="text-align: center;">ヨコハマサイクルスタイル(赤レンガ倉庫)</p>
<p>二輪車交通事故防止 月間 暴走族追放強化月間 (6/1～6/30)</p>	<p><b>1 重点</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>◆ 二輪車の交通事故防止</li> <li>◆ 暴走族の追放</li> </ul> <p><b>2 主な活動内容</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>◇ 沿道でのぼり旗やハンドフラッグを掲げ、二輪車の交通事故防止・安全運転の呼び掛けを実施</li> </ul> <div style="text-align: center;">  <p>マナーアップキャンペーン(保土ヶ谷)</p> </div>

首都圏放置自転車  
クリーンキャンペーン  
(10/1～10/31)

- 1 重点
  - ◆ 放置自転車の防止
  - ◆ 交通ルールの遵守と駐車マナーの向上
- 2 主な活動内容
  - ◇ 駅周辺で、注意・警告札の貼付やパトロール、移動作業を実施
  - ◇ 自転車街頭点検を実施
  - ◇ 交通安全ルールの周知啓発



横浜北仲フェス（市庁舎）




飲酒運転根絶強化月間  
(12/1～12/31)

- 1 重点
  - ◆ 飲酒運転根絶運動の周知徹底と広報啓発
  - ◆ 飲酒運転を助長する環境の根絶
  - ◆ ハンドルキーパー運動の推奨
- 2 主な活動内容
  - ◇ 信号待ちのドライバーなどに対し、飲酒運転の大根絶の願いを込めた大根や啓発物の配布を実施






横浜消防出初式



### (3) 年間を通じて実施した取組

項目	主な実施内容
① 子どもと高齢者の交通事故防止	<p>【子ども】            幼児・児童を交通事故から守るため、幼稚園や保育所、小学校等と連携し、子どもの心身の発達段階に応じた交通安全教育・啓発を実施しました。</p>  <p>◆ 幼児</p> <p>◇ 幼児交通安全教育訪問指導の実施            幼稚園・認可保育所・横浜保育室を対象に、横浜市交通安全キャラクターのパペットと幼児交通安全教育指導員による訪問指導を実施しました。            実施回数：230回 参加者数：15,464名（令和5年12月末時点）</p> <p>◇ 幼児向け交通安全教育動画による啓発            幼稚園・保育所や家庭などで活用いただけるよう、「幼児向け交通安全教育動画」をYouTubeで公開し、各季にX(旧ツイッター)で紹介しました。</p>   <p>幼児交通安全教育動画            (市ウェブサイト)</p> <p>◇ 幼稚園、保育所等における保護者向け交通安全教室の実施            幼稚園・認可保育所・横浜保育室へ職員が訪問し、園児の保護者を対象とした交通安全教室を実施しました。            実施回数：16回 参加者数：合計304名（令和5年12月末時点）</p> <p>◇ チャイルドシート取り付け方教室の実施            地区交通安全協会・交通安全母の会が中心となって、各区両親教室や乳幼児健診などに参加する保護者を対象に実施しました。            実施回数：36回 参加者数：合計1559名（令和5年12月末時点）</p>



項目	主な実施内容
<p>① 子どもと高齢者の交通事故防止</p>	<p>◆児童・児童保護者等</p> <p>◇ <b>子どもの通学路交通安全対策事業</b>  「通学路における子どもの交通事故死ゼロ」を目標として、交通事故データや ETC2.0 の速度データなどを活用・分析し、ハードとソフト両面で交通安全対策に取り組む「子どもの通学路交通安全対策事業」を実施しています。</p> <p><b>【取組内容・ソフト対策】</b></p> <p>○ <b>こども・交通事故データマップの公開</b>  警察が保有する交通事故データをもとに、市内における小学生・中学生が関係した事故の発生場所を可視化した地図「こども・交通事故データマップ」を作成し、通学路の安全点検や地域の見守り活動等に活用していただけるよう、小学校やスクールゾーン対策協議会等に周知しました。</p> <div style="display: flex; align-items: center; justify-content: center;">  <div style="text-align: center;"> <p>こども・交通事故データマップ</p> </div> </div> <div style="display: flex; align-items: center; justify-content: center; margin-top: 20px;"> <div style="text-align: center;"> <p>【掲載イメージ】</p>  </div> <div style="margin-left: 20px;"> <p>アイコンを選択すると、事故の概要が確認できます</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: 150px;"> <p>2021年</p> <p>発生年 2021年</p> <p>発生月 12月</p> <p>発生時 17時台</p> <p>曜日 月</p> <p>発生場所 横浜市○○区○○町1丁目2番3号</p> <p>事故類型 人対車両—その他横断中</p> <p>道路状況 交差点-その他</p> <p>天候 雨</p> <p>当事者種別1 自転車</p> <p>当事者種別2 歩行者</p> </div> <p>引用:Google マップ</p> </div> </div> <p>○ <b>交通安全推進校での取組(令和5年度・4校)</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・放課後キッズクラブの交通安全教室</li> <li>・出前授業 … 実施回数:3回 参加者数:213名</li> <li>・交通安全教室 … 実施回数:4回 参加者数:255名</li> <li>・幼児交通安全教育訪問指導の強化</li> </ul> <p>&lt;交通安全推進校とは&gt;  児童を対象とした交通安全教育、地域や保護者と連携した見守り活動などの交通安全対策を重点的に実施する小学校・義務教育学校</p> <p>令和5年度:立野小学校(中区)、永野小学校(港南区)、都田西小学校(都筑区)、原小学校(瀬谷区)</p> <p><b>【取組内容・ハード対策】</b></p> <p>○ <b>交通安全対策</b>  交通事故データや ETC2.0 ビッグデータなどを活用して、潜在的な交通危険箇所を見える化し、ハンプや狭さくなど物理的デバイスの整備を行いました。</p> 

項目	主な実施内容
② 子どもと高齢者の交通事故防止	<p>◇ はまっ子交通あんぜん教室の実施 交通安全協会・県警・区役所が連携して、正しい歩き方や自転車の正しい乗り方についての安全教育を市内小学校で実施しました。</p> <p>実施回数：272回 参加者数：59,066名(令和5年12月末時点)</p>  <p>◇ スクールゾーン活動の支援 各小学校のスクールゾーン活動が効果的かつ円滑に行えるよう各種冊子を配布しました。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「スクールゾーン活動のしおり」約2,200部</li> <li>・「通学路はたふり指導ハンドブック」約2,800部</li> <li>・「通学路安全点検ハンドブック」約2,500部</li> </ul> <p>◇ 通学路はたふり誘導講習会の実施 毎年、児童の誘導等に従事いただいている保護者等を対象にはたふり誘導講習会を開催しました。</p> <p>実施回数：4回 参加者数：230名</p>   <p>通学路のはたふり誘導 (市ウェブサイト)</p>
	<p>◇ 黄色いワッペンの配布 子どもを守る交通安全キャンペーンの一環として、全国の小学校新入学児童を対象に、保護者やドライバーへの「注意喚起」と児童の交通安全意識の高揚を願って昭和40年から毎年行っているもので、平成16年からは(株)みずほ銀行、損害保険ジャパン(株)、明治安田生命保険相互会社、第一生命保険(株)の4社より寄贈いただいています。</p>   <p>黄色いワッペン</p>

項目	主な実施内容
① 子どもと高齢者の交通事故防止	<p><b>【高齢者】</b>          高齢者自身が交通安全意識を高めるとともに、高齢者を交通事故から守る活動を推進しました。</p> <p>◇ <b>反射材着用の促進</b>          反射材の効用を説明し、反射材の着用を促進するため、啓発チラシや靴用反射シール、反射材ストラップなどの反射材を、区役所窓口や交通安全教室、イベント等で配布しました。</p> <p style="text-align: center;">チラシ：約 9,600 部          反射材：約 12,000 個</p>  <p>◇ <b>高齢者交通安全教室等の実施</b>          市内全てのシニアクラブや町内会等において、交通ルールやマナーの周知・啓発を率先して行う高齢者交通安全指導者を養成するため、交通安全シルバーリーダー養成研修会を開催しました。</p> <p>また、高齢者による交通事故防止を目的としたシルバー・セーフティスクールを実施しました。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・交通安全シルバーリーダー養成研修会              実施回数：3回 参加者数：218名</li> <li>・シルバー・セーフティスクール              体験実践型 実施回数：4回 参加者数：322名(令和5年12月末時点)              座学参加型 実施回数：8回 参加者数：467名(令和5年12月末時点)              運転指導型 実施回数：5回 参加者数：79名(令和5年12月末時点)</li> </ul> <p>◇ <b>高齢運転者向け交通安全啓発チラシの配布</b>          高齢運転者による交通事故を防止するため、認知機能チェックリストと認知機能に不安を感じた方の運転免許自主返納を促進するチラシを、区役所窓口や研修会、イベント等で配布しました。</p> <p style="text-align: center;">チラシ：約 4,000 部</p> 

項目	主な実施内容
----	--------

① 子どもと高齢者の交通事故防止

**◇ セーフティ・サポートカーの周知**  
 セーフティ・サポートカーの有効性を広めるため、啓発チラシ配布や、ウェブサイト、SNSを活用した情報発信などを実施しました。



The materials include a flowchart showing how Safety Support Cars (S-Cars) assist drivers in emergency situations like sudden lane changes or pedestrian crossings. It also features a flyer titled 'セーフティ・サポートカーでドライブに安心を!' (Drive safely with Safety Support Cars!) which lists benefits like emergency assistance and accident prevention.

② 自転車・二輪車(バイク)の交通事故防止

**【自転車等】**





交通ルールの遵守、マナーの向上を図り、交通事故を防止するため、横浜市自転車活用推進計画に基づく施策や、交通安全教育等を推進し、自転車保険への加入促進に向けた周知・啓発を行いました。また、乗車用ヘルメットの着用と電動キックボードに関する法改正を受け、啓発イベントの実施や、新たに作成したチラシ等を各区役所や各季の交通安全運動で配布するほか、交通安全教室やSNSによる情報発信など、様々な媒体、機会を活用した広報・啓発を行いました。





The materials include a poster about wearing helmets ('ヘルメット かぶっていますか?'), a poster about electric kickboards being treated as vehicles ('電動キックボードは「車両」です!'), and a flyer for bicycle insurance ('自転車保険加入促進動画').



Two photographs show a 'ヘルメット啓発イベント(天王町)' (Helmet Promotion Event in Tenno-cho). One photo shows a table with various helmets and a banner that says 'カブト、かぶろ' (Helmets, wear them). The other photo shows a motorcycle with a helmet on it, part of the same event.

項目	主な実施内容
② 自転車・二輪車 (バイク)の交通 事故防止	<p>◇ <b>自転車保険の周知・啓発</b>            令和4年度に実施した自転車保険への加入状況調査結果を踏まえ、保険加入の促進を図るため、チラシやうちわの配布、テレビ、ラジオ、広報誌、SNS 等での情報発信などを実施しました。            また、自転車保険への加入状況を確認できるチェックシートや、公募による連携事業者の自転車保険商品に関する情報を一覧表にし、本市ウェブサイトで公表しました。            連携事業者数:11社(令和5年12月末時点)</p> <p>◇ <b>自転車保険加入状況等調査の実施</b>            自転車の利用状況や自転車保険への加入状況、自転車利用者の意識等に関する調査を実施しました。自転車保険への加入率は78.5%でした。</p> <p>◇ <b>「中学生・高校生向け自転車交通安全教室」の開催</b>            本市作成の「サイクルルールブック」や、自転車ルールのポイントをまとめたチラシを活用した、自転車交通安全教室を実施しました。            実績:19校 参加者数:5,302名(令和5年12月末時点)</p> <p>◇ <b>「みんなのサイクルルールブックよこはま」の作成、配布</b>            自転車のルールを体系的、網羅的にまとめた自転車ルールブックを、交通安全教室等で教材として使用し、自転車のルールを周知しました。            コンパクト版:約20,000部</p>  <p>◇ <b>乳幼児保護者向け「子ども乗せ自転車」交通ルール広報の実施</b>            幼児を自転車に同乗させるときの安全上のルールや注意点をまとめたチラシを作成し、令和5年度における幼稚園・保育所等の入園説明会や区役所の乳幼児健診等で、配布しました。            また子乗せ自転車利用者向け啓発動画を活用し、X(旧 Twitter)で情報発信しました。            チラシ:約105,000部</p>  <p>子乗せ自転車利用者向け動画</p>  <p>◇ <b>「自転車ルールのきほん」リーフレットの作成、配布</b>            「みんなのサイクルルールブックよこはま」の内容から、自転車を利用するのに最低限知ってほしいルール・マナーを記載したリーフレットを作成、配布しました。            外国の方にも日本の自転車ルールを理解していただけるよう、英語、中国語、ハングル、やさしい日本語でも作成、配布しました。            約35,000部</p> 

項目	主な実施内容
<p>② 自転車・二輪車(バイク)の交通事故防止</p>	<p>◇ 世代別自転車交通安全チラシの活用 乳幼児保護者、中学生、高校生に向けた自転車交通安全チラシを、交通安全教室等で配布しました。 また、市内全ての中学、高校、特別支援学校の新入学生へ配布しました。 約 200,000 部</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around; align-items: flex-start;"> <div style="text-align: center;">  <p>中学生向け</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>高校生向け</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>特別支援学校生向け</p> </div> </div> <div style="display: flex; justify-content: space-around; align-items: flex-start; margin-top: 20px;"> <div style="text-align: center;">  <p>高齢者向け</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>子乗せ自転車利用者向け</p> </div> </div>
	<p>◇ 思いやり SHARE THE ROAD 運動 自転車とクルマが互いに思いやりを持って車道を共有する意識(SHARE THE ROAD)を啓発する運動を、バスや公用車等へのステッカーの貼付、チラシ、ポスター等により周知を行っています。 5月の自転車マナーアップ月間では SNS での広報や、イベントでの周知・啓発に取り組みました。また、その他の期間にも、イベント等の機会にパネル展示や、チラシ、反射ストラップを配布するなど、運動の周知に努めました。</p> <div style="text-align: center; margin: 10px 0;">  </div> <p>◇ スケアード・ストレイト方式による自転車交通安全教室 スタントマンが自転車事故を再現し、恐怖を実感することで、交通ルールを遵守することの大切さを体感させるスケアード・ストレイト方式による交通安全教室を実施しました。 実施回数: 11 回(令和5年 12 月末時点)</p> <div style="text-align: right; margin: 10px 0;">  </div> <p>◇ 自転車マナーアップ監視員による啓発活動 放置の防止と併せて自転車の押し歩きなど、声掛けによる啓発を行いました。</p>

項目	主な実施内容
② 自転車・二輪車 (バイク)の交通 事故防止	<p>【二輪車】 二輪車の事故防止に向け、市営自転車駐車場におけるポスター掲示や、SNSを活用し、二輪車の安全な乗り方や正しい交通ルールの啓発に取り組みました。</p> <p>◇ 二輪車安全運転に関する広報活動及び安全運転実技指導 市内の事業者等を対象として、二輪車の安全な乗り方や正しい交通ルールを習得する交通安全運転実技講習及び講話等を実施しました。</p> <p>実施回数:5回 参加者数:137名(令和5年12月末時点)</p>
③ その他	<p>◇ 視聴覚教材の貸出し 交通安全教育の効果的な推進を図るため、DVD等の視聴覚教材を充実させ、関係機関や団体、企業等への貸し出しを行いました。</p> <p>◇ デジタルサイネージを活用した広報・啓発 市庁舎及び区役所のデジタルサイネージを活用し、交通安全運動・強化月間の周知などを実施しました。</p> <p>◇ X(旧 Twitter)を活用した啓発活動 Xを活用し、交通ルールの啓発、本市イベント情報等をタイムリーに発信しました。今後も、継続的に取り組みます。 アカウント名:横浜市道路局交通安全・自転車政策課(@y_kotsuanzen)</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around; align-items: center;">  <div style="text-align: center;"> <p>横浜市道路局交通安全・自転車政策課 (Xアカウント)</p> </div>  </div>

## (4) 特別対策

神奈川県交通安全対策協議会が指定した地域(自転車交通事故多発地域)において、地域の実情に応じた交通事故防止対策を推進しました。

### ア 自転車交通事故多発地域の指定

令和5年度自転車事故多発地域指定(横浜市内)・・・鶴見区、金沢区

### イ 高齢者交通事故多発地域の指定

令和5年度高齢者交通事故多発地域指定(横浜市内)・・・中区

## 2 その他の活動

### (1) 踏切の交通事故防止

市内の踏切に対し、安全対策を計画的に進めています。

令和5年度は、樹源寺踏切、金沢八景(逗)第2踏切、表谷踏切等の踏切安全対策に関する工事を進めました。

### (2) 横浜市交通安全対策会議における決定事項を踏まえた取組

令和4年度の交通安全対策会議にて、横浜市交通安全実施計画における令和7年度までの目標を「年間死者数 36 人以下」、「通学路における子どもの交通事故死ゼロ」とすることに決定しました。この目標を達成するため、引き続き交通事故防止の取組を進めていきます。

## 3 横浜市交通安全功労者表彰式

本市の交通安全と事故防止に貢献し、その功績の顕著な個人及び団体を横浜市交通安全対策協議会会長(横浜市長)が表彰しました。

(1)日時

令和5年 10 月 24 日(火)

(2)会場

ロイヤルホールヨコハマ

(3)被表彰者

個人 26 名、団体 10 団体





## 4 各区の取組紹介

令和5年度も、各区では様々な工夫をして交通安全に関する取組が行われました。その中で代表的な取組の一部を御紹介します。

### 鶴見区

4月10日一日警察署長  
前田文香さん新入学児童・園児  
を迎えての新入学児童・園児を  
交通事故から守る運動を実施  
し啓発物を配布しました。



園児・児童による交通安全宣  
言と交通安全の歌と手話の演  
技をしました。



元気よく  
出来ました



### 神奈川区

**新型コロナウイルス感染症が5類に移行されたことで、コロナ前の  
規模で、交通安全教室、キャンペーン等各種啓発活動を行いました。**

キャンペーンでは「かめ太郎」も参加  
して、交通安全を呼びかけました。

三世代交通安全教室、中学校で  
スケアード・ストレイトを開催  
しました。



三世代交通安全教室



スケアード・ストレイト



西区

# 親子交通安全教室を実施

11月12日（日）横浜市営バス浅間町営業所にて

正しい横断歩道の渡り方など、交通安全のルールなどについて学びました

バスに実際に乗って、死角体験や下車してからの注意点を学びました



横浜ケーブルビジョンで放映されました

中区

## 交通安全運動キャンペーン

《春の全国交通安全運動》



元ベ이스ターズ監督のラミレスさんを一日警察署長にお迎えし、山手警察署管内をパレードして、啓発活動を行いました。

《ハローよこはま 2023 でキャンペーン》



区民祭りに出店して、来場者に交通事故防止を呼びかけました。



## 交通安全教室

《はまっ子交通あんぜん教室》



区内小学校において、安全な歩き方、自転車の安全な乗り方等の教室を開催しました。

《スケアード・ストレイト方式交通安全教室》



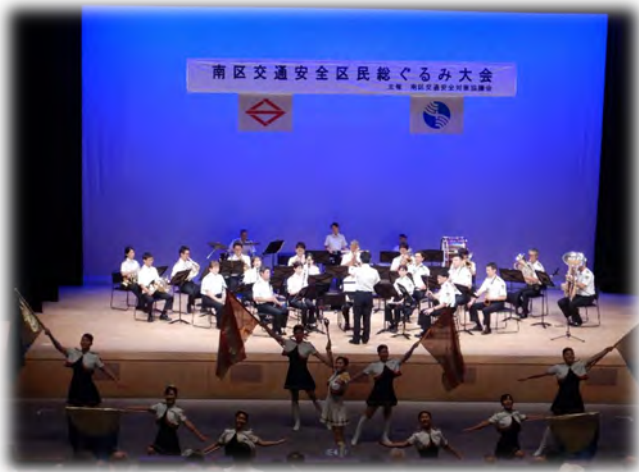
大鳥中学校の生徒を対象に交通事故の再現スタントにより、交通ルール遵守を学びました。

## 南区



### 春の全国交通安全運動キャンペーン

交通安全教室を開催し、幼児・児童をはじめとした多くの区民の皆様に参加いただきました。パトカーや白バイの展示も実施しました。



### 南区交通安全区民総ぐるみ大会

県警音楽隊とカラーガード隊のパフォーマンスや、南交通安全母の会の南区音頭踊りとともに、区民一丸となって交通安全の推進を誓いました。

## 港南区

### 積極的な交通安全啓発広報活動 !!



窓口広報



街頭広報活動



イベント広報 (県警音楽隊)

街頭・SNS・イベント等を活用し交通安全を呼び掛けました!

### 心に残る体験型交通安全啓発活動!

体験型の交通安全啓発活動を数多く実施しました!



スケアード・ストリート



交通安全シルバークフェスタ

## 保土ケ谷区

### ■登校時間に合わせた見守り活動

通学路における子どもの交通事故ゼロを目指し、保土ケ谷警察署と協力して、区内全小学校で実施しました。



### ■3世代交通安全教室

スケアード・ストレイト、安全講話、反射能力測定体験等を保土ケ谷地区（横浜市立権太坂小学校）で実施しました。

## 旭区

### ■各季交通安全運動キャンペーン

年末の交通事故防止運動は特殊詐欺撲滅キャンペーンと併せて、横浜ケーブルビジョンの番組で活躍されている『ビリー諸川』さんを一警察署長にお迎えし、旭公会堂で実施しました。当日は450名と大勢の方にご参加いただき、旭警察署員とビリー諸川氏による『交通事故防止』『特殊詐欺』の安全講話を楽しいトークで実施。また、県警音楽隊の演奏、ビリー諸川さんのワンマンショー等、交通事故防止と特殊詐欺の注意喚起を行いました。



### ■シルバーリーダー全体研修会

旭区交通安全シルバーリーダー連絡協議会全体研修会を旭公会堂で実施しました。当日は150名のシルバーリーダーが参加し、旭警察署協力のもと、区内で発生した交通事故の近況および安全講話、県警音楽隊による演奏等、交通安全の啓発活動を行いました。



### ■スケアード・ストレイト方式による交通安全教室

旭区では、スケアード・ストレイト方式による交通安全教室を、中学生と高齢者を対象に3回実施しました。交通安全の意識を高めてもらうため目の前で交通事故の再現を見ていただき、特に自転車走行ルール・マナーの向上を図りました。



## 磯子区

### 交通安全七夕祈願《7月》と交通安全パレード《12月》を実施しました！！



白バイ隊員に先導されながら、通行人に交通安全啓発チラシや反射材を配布し、交通事故防止を呼びかけました。

大きな笹に、園児たちと願い事を書いた短冊を飾り付けました。



## 金沢区

### 交通事故防止を願い、各世代対象に交通安全教室を開催！

#### 自転車マナーアップ小学生大会の開催



小学生を対象に自転車競技を通じ、交通ルールとマナーを身に付けることにより、自転車による交通事故防止を目指しました。

#### スケアード・ストレイトによる中学生に向けた交通安全教育の実施



中学生を対象に、プロのスタントマンによる模擬交通事故教室を行い、ルールを守らないことによる怖さを体験しました。

#### 交通安全シルバー大会の開催



シニアを対象に自転車のルールを中心とした交通安全教室を開催し、参加者は改めて交通ルールについて再確認しました。

## 港北区

### マリノスケと一緒に、はまっ子交通あんぜん教室を開催！



右手を高く上げて！

警察や港北交通安全協会をはじめ、横浜F・マリノスのマリノスケやトリコロールマーメイズ、アネスト岩田株式会社、交通局も参加し、23校ではまっ子交通あんぜん教室を実施しました。



太尾小学校他2校には市営バスも参加



熱中症対策でミストも登場！



水風船を使ったヘルメット実験



マリノスケとマーメイズの見本歩行

## 緑区

関係団体や自治会と連携し、各季啓発活動や交通安全教室を実施しました！！



### 各季交通安全運動キャンペーン



▲春の全国交通安全運動  
(鴨居駅周辺)



▲夏の交通事故防止運動  
(十日市場駅周辺)



▲秋の全国交通安全運動(緑公会堂)  
写真は神奈川県警察音楽隊による  
音楽演奏



▲年末の交通事故防止運動  
(長津田駅周辺)

### スクアード・ストレイト交通安全教室

自治会と連携し、地域の小学生や保護者を対象とした交通安全教室を開催しました。自転車同士の衝突事故や自転車と車の衝突事故をリアルに再現し、事故の怖さと交通ルールを守ることの大切さを学んでもらいました。



## 青葉区

**身に着けて安心・安全！**

**青葉区マスコットキャラクター「なしかちゃん」の反射材配布！**

広報よこはま青葉区版で告知し、区役所窓口で反射材を配布しました。「家族全員で着きたい」「とてもかわいい」と大人にも子どもにも大好評でした。



**青葉区小学生交通安全ポスターコンクール開催！**

交通安全にかかわることをテーマに募集。177点もの応募があり21作品が入賞しました。12月25日(月)に区役所で表彰式を行い、入賞作品を一覧にしたポスターを地区センター等に掲示し、交通安全の啓発活動に活用しました。



## 都筑区

各季の交通安全運動に連動した街頭キャンペーンや防犯メール等による啓発を実施!! 小中学生対象の体験型交通安全教室も!

春と秋のキャンペーンではパレード実施! 秋は一日警察署長も一緒に行進!!



はまっ子  
交通あんぜん  
教室 10校



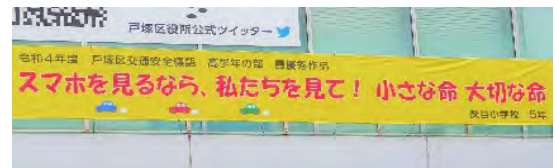
スケアード・  
ストレイト  
東山田中

**戸塚区**

**区内小学生が考えた「交通安全標語」を活用した啓発活動を実施しました！**



交通安全標語を記載した啓発物品を作成し、交通安全キャンペーンで配布しました。



キャンペーン期間中に「交通安全標語」横断幕を JR 戸塚駅から見える区役所のデッキに掲出しました。

**交通安全キャンペーン**



関係団体約 60 名が参加し、戸塚駅周辺にて交通安全キャンペーンを実施しました。啓発グッズを配布し、啓発活動を行いました。

**栄区**

**今年度の交通安全キャンペーンでもいろいろな啓発活動を行いました。**



自転車運転シミュレーション体験



文字看板の掲出



幼稚園児のミニ交通安全教室



キャンペーン実施に向けて SNS 投稿



自転車の無料点検



飲食店へ広告掲示の協力依頼



お年寄りの杖に反射材シール貼付



## 泉区



### ◆交通安全教室(4月~11月)

泉交通安全協会・泉警察署が区内 15 小学校を訪れ、横断歩道の安全な渡り方・自転車の正しい乗り方を児童に伝えました。豆腐を使ったヘルメット実験では、着用の大切さを身をもって実感していました！



### ◆二輪車講習会(10月)

泉青少年交通安全連絡協議会・泉警察署の共催で、二輪車運転者の安全運転技能と交通マナーの向上を目的に開催されました！



### ◆交通安全キャンペーン

泉区交通安全対策協議会の関係団体と共に、区内の主要駅で各季交通安全の呼びかけを行いました。12月はクリスマスツリー展示の効果もあり、多くの方が足をとめて啓発物品を受け取っていただきました！



### ◆交通安全スローガンコンクール

児童が自ら交通安全について考えるきっかけ作りを目的にH19年度から実施し、R5年度は区内 15 小学校から 4,730 点の応募がありました。最優秀賞は上飯田小 1 年生が受賞しました！



最優秀児童の表彰の様子



泉区マスコットキャラクター  
いっずん

## 瀬谷区

### 交通安全啓発ポスターコンクール

夏休み期間を活用し、区内小・中学生の皆さんに交通安全啓発ポスターの募集を行いました。

176 作品の応募があり、25 作品が入賞しました。区役所にて表彰式を開催し、2階区民ホールで入賞作品の展示を行い、交通安全の啓発に活用しました。



### 各季の交通安全運動キャンペーン

年間を通じて、各種交通安全運動キャンペーンを実施しました。

特に街頭啓発では、三ツ境・瀬谷駅を利用する方へ、広報物及び物品の配布を行い、交通安全の意識啓発を行いました。



春：前年度のポスターコンクール入賞者を、一日警察署長にお迎えしました。



秋：瀬谷区出身のサクソフォン奏者「田村哲」さんを一日警察署長にお迎えしました。

# 令和6年度 「横浜市交通安全運動実施計画」

## 1 趣旨

令和5年中の横浜市内における人身交通事故は、発生件数7,703件（前年比+211件）、負傷者数8,909人（前年比+426人）と、ともに増加しました。交通事故死者数は前年より増え40人（前年比+2人）と、依然として多くの尊い命が失われています。交通事故で亡くなられた方の状態別では、歩行中が18人、二輪車乗車中が15人と高い割合を占めているほか、年齢別では65歳以上の高齢者が関係するものが18人と4割以上を占めています。

こうした交通事故の発生傾向を踏まえ、令和6年は引き続き、令和4年度横浜市交通安全対策会議で定めた、「年間の交通事故死者数36人以下」、「通学路における子どもの交通事故死ゼロ」を目標に、関係機関・団体の皆様とともに、市民の交通安全意識の向上を目指した運動を効果的に推進してまいります。

## 2 年間スローガン

「安全は 心と時間の ゆとりから」



横浜市交通安全キャラクター  
ルールちゃん まもるくん

## 3 重点事項

- 横断歩道における歩行者優先の徹底
- 子どもと高齢者の交通事故防止
- 自転車・二輪車の交通事故防止
- 飲酒運転の根絶

## 4 活動推進

- 夕暮れ時の前照灯の早め点灯と走行用前照灯（ハイビーム）の効果的活用
- 自転車損害賠償責任保険等の加入義務及び全ての自転車利用者に対する乗車用ヘルメット着用努力義務の周知の徹底
- 違法駐車及び放置自転車・バイクの追放
- 後部座席を含めた全ての座席のシートベルトとチャイルドシートの正しい着用の徹底
- 踏切道における交通事故防止
- 暴走族の追放
- 障がい者（特に視覚障がい者）の交通事故防止

## 5 年間運動

(1) 各季の運動 （※上記重点事項、活動推進を網羅して包括的に取り組む交通安全運動です。）

名称	実施期間	備考
春の全国交通安全運動 交通事故死ゼロを目指す日	4月6日（土）～15日（月） 4月10日（水）	別に実施要綱を定めます。
夏の交通事故防止運動	7月11日（木）～20日（土）	
秋の全国交通安全運動 交通事故死ゼロを目指す日	9月21日（土）～30日（月） 9月30日（月）	
年末の交通事故防止運動	12月11日（水）～20日（金）	

(2) 強化月間 (※重点事項、活動推進のうち、期間中特に強化して行う運動です。)

名称(スローガン)	実施期間	備考
九都県市一斉自転車マナーアップ強化月間 (自転車も のれば車の なかまいり) (ヘルメット かぶるだけでも 救える命)	5月1日(水)～31日(金)	別に実施要綱を定めます。
二輪車交通事故防止強化月間 (運転に ゆとり やさしさ 思いやり) 暴走族追放強化月間 (暴走は しない させない ゆるさない)	6月1日(土)～30日(日)	
首都圏放置自転車クリーンキャンペーン (ちょっとだけ 甘えが招く 迷惑駐車) (自転車の 代わりに置こう 思いやり)	10月1日(火)～31日(木)	
飲酒運転根絶強化月間 (乗る人に 飲ませるあなたも 犯罪者)	12月1日(日)～31日(火)	

(3) 年間を通じて実施する取組 (各季交通安全運動や強化月間にかかわらず、年間で実施する取組)

ア 子どもと高齢者の交通事故防止

- 幼稚園・認可保育所・横浜保育室を対象とした、横浜市幼児交通安全教育指導員による幼児交通安全教育の推進
- はまっ子交通あんぜん教室等、児童を対象とした交通安全教育の推進
- チャイルドシート着用の推進
- 高齢者交通安全教育の推進
- 交通安全シルバーリーダーの養成・活動の推進

【参考】幼児交通安全訪問指導

パペット(ルールちゃん、まもるくん)と指導員による交通安全教室

令和6年度  
市内幼稚園・保育所等  
訪問回数：300回(予定)



イ 自転車・二輪車の交通事故防止

- 小・中・高校生を対象とした交通安全教室の開催
- リーフレット、世代・対象者別の啓発チラシの配布
- 自転車とクルマの互いの思いやりを啓発する「思いやり SHARE THE ROAD 運動」の実施
- 自転車等を放置しないように呼び掛ける運動の推進
- 体験型の交通安全教室であるスクエアード・ストレイト方式交通安全教室の開催
- 自転車点検整備と自転車損害賠償責任保険等加入の促進
- 自転車の乗車用ヘルメット着用の促進
- 二輪車の乗り方に関する啓発及び二輪車講習会の開催

ウ その他

- 電動キックボードの安全利用に関する周知・啓発
- 視覚に障がいがある方など体の不自由な方に対する思いやりに関する周知・啓発
- 視聴覚教材の貸出し
- ウェブサイトを活用した広報・啓発
- SNS(Twitter等)、動画等を活用した啓発

#### (4) 特別対策

##### ア 交通事故防止特別対策

交通事故の発生状況を踏まえ、特別対策を実施します。

##### イ 自転車交通事故防止対策・高齢者交通事故防止対策

神奈川県交通安全対策協議会が指定した自転車交通事故多発地域や高齢者交通事故多発地域において、地域の実情に応じた積極的な広報啓発活動を実施します。

〔 【参考】令和5年 自転車交通事故多発地域（5月1日指定）：鶴見区、金沢区  
高齢者交通事故多発地域（9月1日指定）：中区 〕

##### ウ 飲酒運転根絶対策

依然として飲酒運転による痛ましい交通事故が後を絶たないことから、キャンペーンを市内各地で実施するなど飲酒運転を許さない社会づくりを強力に進めます。また、ハンドルキーパー運動を地域で推奨し、その運動の輪を広げます。

## 6 横浜市交通安全対策協議会の会議等日程

名 称	開 催 時 期	内 容 等
交通安全功労者表彰式	令和6年 10月下旬（予定）	多年にわたり本市の交通安全と交通事故防止に貢献し、その功績が顕著な個人及び団体を表彰します。
総 会	令和7年 2月（予定）	【協議事項】 ・令和6年度交通安全運動実施結果（速報）について ・令和7年度交通安全運動実施計画（案）について

### ◆ 各種交通安全啓発チラシ配布等について

自転車を安全で快適に利用するために知っておきたい交通ルール等をまとめた「みんなのサイクルルールブックよこはま」や、世代・対象者別の啓発チラシ等を作成し、配布しています。

ルールブックや啓発チラシは、市ウェブサイト（交通安全 横浜市で検索）からダウンロードして自由にお使いいただけます。また、交通安全動画（YouTube）も公開していますので是非ご覧ください。

（ルールブック  
コンパクト版）



（啓発ポスター・チラシ）



（幼児向け交通安全動画）



### ◆ 視聴覚教材等の貸出しについて

横浜市道路局では、視聴覚教材（DVD）及びパペットの貸出しを行っておりますので、交通安全教育に是非ご活用ください。詳細は、市ウェブサイトをご参照ください。

**受付方法** 電話にて受け付けています。 ☎045（671）2323

**対 象** 横浜市内の団体（保育所、幼稚園、事業所、自治会町内会、老人クラブ、その他公共団体等）

視聴覚教材（DVD）



パペット



（ルール） （まもる）

**自治会・町内会**

- 横浜市町内会連合会
- 各区連合町内会

**交通安全協会、団体等**

- (一財)横浜市交通安全協会
- 各地区交通安全協会
- 横浜市交通安全母の会連合会
- 各地区安全運転管理者会

**女性・青少年団体**

- 横浜市女性団体連絡協議会
- 横浜市青年団体連絡協議会
- 横浜市青少年指導員連絡協議会
- 横浜市スポーツ推進委員連絡協議会
- ボーイスカウト横浜市連合会
- ガールスカウト横浜市連絡協議会
- 横浜海洋少年団
- 横浜市健民少年団
- 横浜市子ども会連絡協議会

**自動車等関連団体**

- 神奈川県二輪車普及安全協会
- (一社)神奈川県指定自動車教習所協会
- (一社)神奈川県自動車会議所
- 神奈川県タクシー協会
- (一社)神奈川県バス協会
- 神奈川県トラック協会
- 神奈川県自動車整備振興会
- 神奈川県自動車販売店協会
- 神奈川県軽自動車協会
- 神奈川県自転車商協同組合
- 横浜個人タクシー協同組合
- 神奈川県個人タクシー協同組合
- 日本自動車連盟神奈川支部
- 赤帽首都圏軽自動車運送協同組合神奈川県支部

**商工関係**

- 横浜商工会議所
- (一社)横浜青年会議所
- 横浜市商店街総連合会

**司法、保護機関・団体**

- 神奈川県弁護士会
- 横浜市人権擁護委員会

**医師会等**

- 横浜市医師会
- 横浜市病院協会

**労働組合**

- 日本労働組合総連合会神奈川県連合会
- 日本労働組合総連合会神奈川県連合会横浜地域連合

**教育関係機関・団体**

- 横浜市立高等学校長会
- 横浜市立中学校長会
- 横浜市立小学校長会
- 横浜市私立中学高等学校長協会
- 横浜市幼稚園協会
- 横浜市PTA連絡協議会
- 横浜市学校保健会

**鉄道関係**

- 東日本旅客鉄道(株)横浜保線設備技術センター
- 東日本旅客鉄道(株)横浜駅
- 東京急行電鉄(株)鉄道事業本部運輸計画部
- 京浜急行電鉄(株)鉄道本部施設部
- 相模鉄道(株)施設部
- 横浜高速鉄道(株)運輸部

**報道関係**

- 日本放送協会横浜放送局
- アール・エフ・ラジオ日本
- テレビ神奈川
- 神奈川新聞社
- 毎日新聞社横浜支局
- 読売新聞社横浜支局
- 朝日新聞社横浜総局
- 産業経済新聞社横浜総局
- 東京新聞横浜支局
- 日本経済新聞社横浜支局
- 共同通信社横浜支局
- 時事通信社横浜総局

**道路管理者**

- 国土交通省横浜国道事務所
- 中日本高速道路(株)東京支社
- 東日本高速道路(株)関東支社
- 首都高速道路(株)神奈川局

**その他関係団体**

- (公財)横浜市老人クラブ連合会
- (福)横浜市社会福祉協議会
- 横浜市民生委員児童委員協議会
- 横浜ライオンズクラブ

**官公庁**

- 関東運輸局神奈川運輸支局
- 神奈川県
- 神奈川県警察
- 横浜市

(順不同)

**横浜市交通安全対策協議会**  
(事務局) 横浜市道路局交通安全・自転車政策課(※) 電話045(671)2323

※令和6年4月1日から道路政策推進課に課名を変更します

# 資料 1

## 横浜市における交通事故の状況等

### 横浜市

区 分	令 和 5 年	令 和 4 年	前 年 比	
			増 減 数	増減率 (%)
発生件数 (件)	7,703	7,492	+211	+2.8
死者数 (人)	40	38	+2	+5.3
負傷者数 (人)	8,909	8,483	+426	+5.0

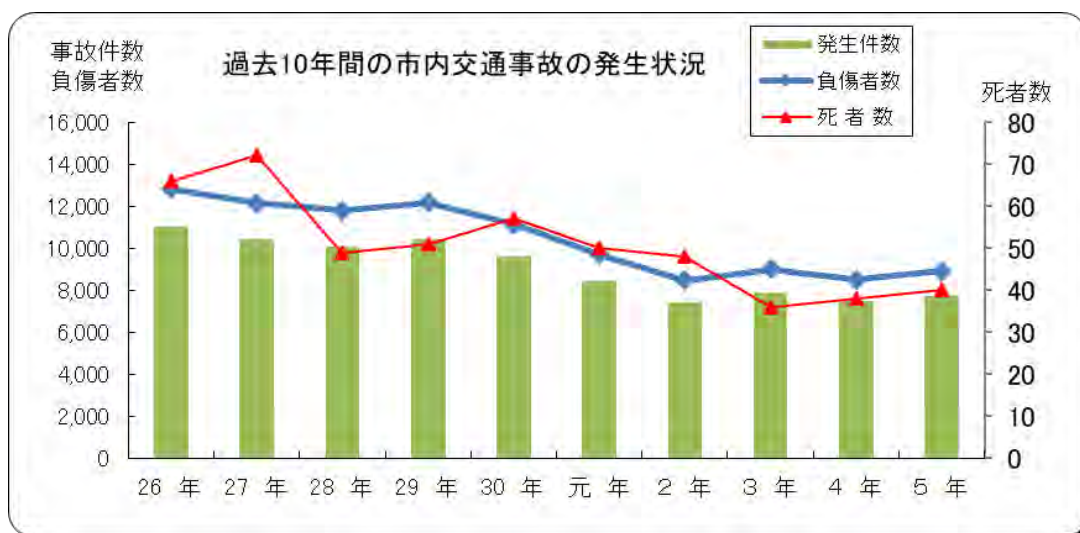
### 神奈川県

区 分	令 和 5 年	令 和 4 年	前 年 比	
			増 減 数	増減率 (%)
発生件数 (件)	21,870	21,098	+772	+3.7
死者数 (人)	115	113	+2	+1.8
負傷者数 (人)	25,644	24,382	+1,262	+5.2

## 1. 過去 10 年間の推移

区 分	26 年	27 年	28 年	29 年	30 年
発生件数	10,989	10,397	10,081	10,441	9,596
前年増減	▲ 1,259	▲ 592	▲ 316	360	▲ 845
死者数	66	72	49	51	57
前年増減	5	6	▲ 23	2	6
負傷者数	12,815	12,132	11,802	12,187	11,137
前年増減	▲ 1,562	▲ 683	▲ 330	385	▲ 1,050

区 分	元 年	2 年	3 年	4 年	5 年
発生件数	8,398	7,398	7,883	7,492	7,703
前年増減	▲ 1,198	▲ 1,000	485	▲ 391	211
死者数	50	48	36	38	40
前年増減	▲ 7	▲ 2	▲ 12	2	2
負傷者数	9,699	8,468	8,997	8,483	8,909
前年増減	▲ 1,438	▲ 1,231	529	▲ 514	426



## 2. 区別発生状況

	件数		死者数		負傷者数	
		前年比		前年比		前年比
鶴見区	626	-43	4	0	712	-33
神奈川区	329	-34	2	-1	383	-17
西区	261	6	2	-1	294	9
中区	475	91	4	3	568	136
南区	391	63	1	-1	423	62
港南区	499	22	2	0	607	22
保土ヶ谷区	345	-109	4	4	398	-128
旭区	482	-46	1	-1	529	-65
磯子区	290	-21	6	5	344	-10
金沢区	537	31	4	2	626	52
港北区	657	145	0	-2	768	209
緑区	446	75	2	-3	500	84
青葉区	600	57	0	-1	707	82
都筑区	421	-17	2	-2	494	-15
戸塚区	540	26	2	-2	624	53
栄区	171	-22	0	0	211	-27
泉区	326	54	0	0	360	63
瀬谷区	307	-67	4	2	361	-51
小計	7,703	211	40	2	8,909	426

## 3. 区別各種事故件数

	歩行者		子ども		高齢者		自転車		二輪車	
	R5	前年比	R5	前年比	R5	前年比	R5	前年比	R5	前年比
鶴見区	129	3	56	10	202	1	215	-8	185	-21
神奈川区	68	-21	22	11	112	-18	73	-2	102	-12
西区	49	-12	8	0	101	23	43	-11	68	-5
中区	108	28	26	8	169	22	99	8	123	18
南区	80	8	20	4	146	31	84	3	149	20
港南区	92	-15	40	-7	178	10	105	3	144	-9
保土ヶ谷区	70	-18	22	-3	118	-15	52	-25	141	-53
旭区	125	8	32	7	170	-15	85	-6	175	-18
磯子区	63	10	24	-6	92	-9	57	-15	90	-17
金沢区	91	-2	47	16	185	12	167	13	181	18
港北区	137	26	50	25	188	47	174	37	199	47
緑区	81	5	38	10	143	24	117	43	138	34
青葉区	164	42	42	0	201	15	120	10	161	11
都筑区	91	23	36	-5	134	2	117	17	88	-30
戸塚区	99	12	25	-9	172	27	70	-18	193	4
栄区	33	-12	11	1	61	-14	28	-7	55	-8
泉区	68	-4	22	-1	110	4	68	3	110	23
瀬谷区	46	-13	20	-5	90	-46	86	-19	100	-17
合計(市内)	1594	68	541	56	2572	101	1760	26	2402	-15

## 資料 2

### 横浜市交通安全対策協議会会則

#### (名 称)

第1条 この会は、横浜市交通安全対策協議会(以下「協議会」という。)という。

#### (目 的)

第2条 協議会は、市内における交通事故の状況をふまえ、交通の安全と円滑の確保に関し、関係行政機関及び団体の密接な連携のもとに、総合的かつ効果的な対策を強力に推進することを目的とする。

#### (協議事項)

第3条 協議会は、前条の目的を達成するため、次の事項を協議する。

- (1) 各種交通安全運動の推進に関すること
- (2) 交通安全意識の高揚及び交通安全教育の推進に関すること
- (3) 道路交通環境の整備改善に関すること
- (4) 関係組織及び団体に関する交通安全施策の推進に関すること
- (5) その他交通安全の推進に関すること

#### (組 織)

第4条 協議会は、関係行政機関及び団体の代表者からなる委員をもって組織し、会長1名、副会長若干名を置く。

#### (会長及び副会長)

第5条 会長は、横浜市長をもってあてる。

- 2 会長は、会務を総理し、本会を代表する。
- 3 副会長は、横浜市副市長及び横浜市交通安全協会会長をもってあてる。
- 4 副会長は、会長を補佐し、会長に事故あるときは、あらかじめ会長の指名したものが、その職務を代行する。

#### (顧 問)

第6条 協議会に、顧問若干名を置くことができる。

- 2 顧問は、会長が委嘱し、会長の諮問に応じて協議会に対し助言を行うものとする。



(部 会)

第7条 協議会に、交通安全部会（以下、「部会」という。）を置き、次に掲げる事項を分掌するほか、会長が特に必要と認めるときは特別部会を置くことができる。

- (1) 交通安全のための広報活動、教育、指導に関する事項
- (2) 児童の交通事故防止に関する事項
- (3) 道路等の施設並びに交通安全施設の整備改善等に関する事項

- 2 部会は、委員のうちから会長が指名した部会長、副部会長及び部会員をもって組織する。
- 3 部会長は、必要と認める場合は、その事務の一部を、幹事会に委任することができる。

(部会長及び副部会長)

第8条 部会長は、部会の事務を掌理し、部会を代表する。

- 2 副部会長は、部会長を補佐し、部会長に事故あるときはその職務を代行する。

(会 議)

第9条 協議会の会議は、総会及び部会とする。

- 2 総会は会長が招集し、その議長となる。
- 3 部会は部会長が招集し、その議長となる。

(意見聴取)

第10条 会長及び部会長は、必要と認めるときは、交通問題に関し学識経験のある者に対し、総会または部会に出席を求め、その意見を聞くことができる。

(幹 事 会)

第11条 協議会の運営を円滑にするため、部会ごとに幹事会を置く。

- 2 幹事会は、関係機関・団体及び市職員のうちから会長が指名する幹事をもって組織する。
- 3 幹事会は、その属する部会の分掌事項につき調査、研究並びに連絡調整を行うほか、部会長から委任された事務を行うものとする。
- 4 幹事会は、部会長が招集し、第13条に定める事務局長がその議長となる。

(会議結果)

第12条 総会及び部会において協議決定した事項について、委員及び幹事は、積極的実現を図るものとする。

(事務局)

第13条 協議会の事務局を横浜市道路局総務部交通安全・自転車政策課に置く。

2 事務局長は、横浜市道路局総務部長をもってあてる。

(補則)

第14条 この会則に定めるもののほか、協議会の運営に関し必要な事項は、会長が定める。

(附則)

この会則は、昭和43年2月20日から施行する。

(附則)

この会則は、平成18年4月1日から施行する。

(附則)

この会則は、平成19年7月5日から施行する。

(附則)

この会則は、平成28年4月1日から施行する。

横浜市交通安全対策協議会委員名簿

令和6年2月1日現在

会長	
所属団体の役職名	氏 名
横浜市長	山中 竹春

副会長	
所属団体の役職名	氏 名
横浜市 副市長	平原 敏英
(一財)横浜市交通安全協会 会長	板橋 悟

顧問	
所属団体の役職名	氏 名
神奈川県警察本部長	直江 利克

監事	
所属団体の役職名	氏 名
横浜市 保土ヶ谷区長	神部 浩
横浜商工会議所 理事・事務局次長・総務部長	高崎 真二

委員	
所属団体の役職名	氏 名
横浜市 政策局長	鈴木 和宏
横浜市 市民局長	渋谷 昭子
横浜市 こども青少年局長	吉川 直友
横浜市 健康福祉局長	佐藤 広毅
横浜市 都市整備局長	堀田 和宏
横浜市 道路局長	田中 洋介
横浜市 消防局長	平中 隆

委員	
所属団体の役職名	氏 名
横浜市 交通局長	三村 庄一
横浜市 教育長	鯉淵 信也
横浜市 鶴見区長	渋谷 治雄
横浜市 神奈川区長	日比野 政芳
横浜市 西区長	菊地 健次
横浜市 中区長	小林 英二
横浜市 南区長	高澤 和義

委員	
所属団体の役職名	氏 名
横浜市 港南区長	栗原 敏也
横浜市 保土ヶ谷区長	神部 浩
横浜市 旭区長	権藤 由紀子
横浜市 磯子区長	関森 雅之
横浜市 金沢区長	永井 京子
横浜市 港北区長	漆原 順一
横浜市 緑区長	佐藤 康博
横浜市 青葉区長	中島 隆雄
横浜市 都筑区長	佐々田 賢一
横浜市 戸塚区長	國本 直哉
横浜市 栄区長	堀口 和美
横浜市 泉区長	山口 賢
横浜市 瀬谷区長	植木 八千代
横浜市立高等学校長会 会長	永瀬 哲
横浜市立中学校長会 会長	室伏 健治
横浜市立小学校長会 会長	大塩 啓介
国土交通省関東地方整備局 横浜国道事務所長	宮本 久仁彦
関東運輸局神奈川運輸支局 首席陸運技術専門官	黒田 隆之
東日本高速道路(株) 関東支社 京浜管理事務所長	松尾 周栄
中日本高速道路(株) 東京支社長	松井 保幸
首都高速道路(株) 神奈川局長	田部井 聡
東日本旅客鉄道(株)横浜保線設 備技術センター所長	江南 和彦
東日本旅客鉄道(株) 横浜駅長	大野 武一

委員	
所属団体の役職名	氏 名
神奈川県 くらし安全防災局長	佐川 範久
神奈川県警察本部 交通部長	川名 愛司
神奈川県警察本部 交通部理事官	新井 滋文
横浜市町内会連合会 会長	網代 宗四郎
鶴見区自治連合会 会長	石川 建治
神奈川区連合町内会 自治会連絡協議会会長	佐藤 潮
西区連合町内会・自治会 連絡協議会会長	平野 周二
中区連合町内会長 連絡協議会会長	松澤 秀夫
南区連合町内会長 連絡協議会会長	吉井 肇
港南区連合町内会長 連絡協議会会長	古屋 文雄
保土ヶ谷区連合町内会長 連絡会会長	堀 功生
旭区連合自治会町内会 連絡協議会会長	林 重克
磯子区連合町内会長会 会長	横田 秀昭
金沢区町内会連合会 会長代行	増田 一行
港北区連合町内会 会長	関 治美
緑区連合自治会長会 会長	木村 赳
青葉区連合自治会長会 会長	関根 宏一
都筑区連合町内会 自治会会長	吉野 富雄
戸塚区連合町内会 自治会連絡会会長	菊池 賢児
栄区連合町内会会長	細田 利明
泉区連合自治会 町内会長会会長	馬場 勝己
瀬谷区連合町内会 自治会連絡協議会会長	網代 宗四郎

委員	
所属団体の役職名	氏 名
鶴見交通安全協会会長	大野 慶太
(一財)神奈川交通安全協会会長	小松 範昭
戸部交通安全協会会長	三石 孝司
加賀町交通安全協会会長	西條 敏一
山手交通安全協会会長	馬場 正治
伊勢佐木交通安全協会会長	依田 龍治
横浜水上交通安全協会会長	藤木 幸吉
(一社)南交通安全協会会長	置田 光男
港南交通安全協会会長	内倉 忠勇
保土ヶ谷交通安全協会会長	板橋 悟
(一財)旭交通安全協会会長	小磯 守
磯子交通安全協会会長	室井 烈
金沢交通安全協会会長	服部 次男
(一財)港北交通安全協会代表理事	嶋村 公
緑交通安全協会会長	鈴木 正雄
青葉交通安全協会会長	工藤 明
都筑交通安全協会会長	加藤 恒雄
戸塚交通安全協会会長	川邊 重男
栄交通安全協会会長	森 克巳
(一社)泉交通安全協会会長	八巻 裕仁
瀬谷交通安全協会会長	相澤 暁三
横浜市交通安全母の会連合会会長	五反田 佐千子

委員	
所属団体の役職名	氏 名
鶴見安全運転管理者会会長	山谷 朋彦
神奈川安全運転管理者会会長	船尾 淳一
戸部安全運転管理者会会長	山口 喜久雄
加賀町安全運転管理者会会長	山口 和昭
山手安全運転管理者会会長	志村 力
伊勢佐木安全運転管理者会会長	笠間 裕
横浜水上安全運転管理者会会長	執行 茂
南安全運転管理者会会長	落合 裕介
港南安全運転管理者会会長	江塚 潔
保土ヶ谷安全運転管理者会会長	工藤 樹
旭安全運転管理者会会長	岩下 幸男
磯子安全運転管理者会会長	佐野 慶春
金沢安全運転管理者会会長	前田 治明
港北安全運転管理者会会長	安齊 博仁
緑安全運転管理者会会長	川島 健
青葉安全運転管理者会会長	飯田 敬
都筑安全運転管理者会会長	佐藤 昌彦
戸塚安全運転管理者会会長	大場 吉彦
栄安全運転管理者会会長	佐々木 克巳
泉安全運転管理者会会長	岡田 英之
瀬谷安全運転管理者会会長	柳沼 芳光

委員	
所属団体の役職名	氏 名
横浜商工会議所 理事・事務局次長・総務部長	高崎 真二
横浜市私立中学高等 学校長協会会長	葛 蔵造
横浜市幼稚園協会 副会長	久米 真浩
横浜市PTA連絡協議会 会長	東 隆幸
横浜市学校保健会会長	戸塚 武和
横浜市女性団体 連絡協議会会長	松井 佑子
横浜市青年団体 連絡協議会会長	浅井 正美
横浜市青少年指導員連絡協 議会副会長(栄区会長)	伊藤 元秀
横浜市スポーツ推進委員 連絡協議会会長	平井 孝幸
ボーイスカウト 横浜市連合会会長	宮崎 弘一
ガールスカウト 横浜市連絡協議会会長	野本 千恵子
横浜海洋少年団副団長	新岡 十三夫
横浜市健民少年団団長	魚地 昌彦
横浜市 子ども会連絡協議会会長	松本 豊
(公財)横浜市老人クラブ連合 会 代理理事(副理事長)	日向 邦夫
(福)横浜市社会福祉協議会 会長	荒木田 百合
横浜市民生委員 児童委員協議会会長	石井 マサ子
横浜ライオンズクラブ会長	鈴木 軌士
(一社)横浜青年会議所 理事長	萩原 幸雄
横浜市商店街総連合会 会長	石川 清貴
横浜市医師会会長	戸塚 武和
横浜市病院協会会長	松井 住仁

委員	
所属団体の役職名	氏 名
神奈川県弁護士会会長	島崎 友樹
横浜市 人権擁護委員会会長	小林 千恵子
日本労働組合総連合会 神奈川県連合会執行委員	加納 浩孝
日本労働組合総連合会神奈川県連合会 横浜地域連合副議長	柴田 康光
神奈川県二輪車普及安全 協会会長	宮本 義信
(一社)神奈川県指定自動車 教習所協会会長	鈴木 康仁
(一社)神奈川県自動車会議所 会長	吉田 修一
神奈川県タクシー協会会長	伊藤 宏
(一社)神奈川県バス協会会長	堀 康紀
神奈川県トラック協会会長	吉田 修一
(一社)神奈川県自動車整備 振興会会長	印出 和憲
神奈川県自動車 販売店協会会長	上野 健彦
神奈川県軽自動車協会会長	田中 章泰
神奈川県自転車商 協同組合理事長	遠藤 繁仁
横浜個人タクシー 協同組合理事長	門谷 真人
神奈川個人タクシー 協同組合理事長	田邊 和男
日本自動車連盟 神奈川支部長	上野 健彦
赤帽首都圏軽自動車運送協同組合 神奈川県支部支部長	永田 広樹
東急電鉄(株) 広報・マーケティング部 沿線企画課長	梶谷 俊夫
京浜急行電鉄(株) 鉄道本部施設部長	富岡 勇人
相模鉄道(株) 施設部長	相崎 哲成
横浜高速鉄道(株) 取締役運輸部長	関 高

委員	
所属団体の役職名	氏 名
日本放送協会 横浜放送局長	平元 亨
アール・エフ・ラジオ日本 編成局長	西村 泰男
神奈川新聞社 取締役・統合編集局長	秋山 理砂
毎日新聞社 横浜支局長	高山 祐
読売新聞社 横浜支局長	中川 誠
朝日新聞社 横浜総局長	円満 亮太
産業経済新聞社 横浜総局長	松本 浩史
東京新聞 横浜支局長	加藤 文
日本経済新聞社 横浜支局長	池澤 健一
共同通信社 横浜支局長	木下 貴史
時事通信社 横浜総局長	小島 洋
テレビ神奈川 取締役 報道・編成担当	嶋田 充郎



横浜市交通安全対策協議会事務局  
横浜市道路局総務部交通安全・自転車政策課  
電話 045-671-2323